

少花粉スギならびに少花粉ヒノキにおける種子の生産性向上試験

【研究概要】

東京都では、花粉発生源対策として皆伐地への花粉症対策品種の植栽を推進している。しかし、植栽に用いる苗木不足が深刻な問題となっており、都産の少花粉品種における種子の増産が求められている。本課題では、少花粉品種からの種子増産を図るため、ミニチュア採種園における花粉の少ないスギならびに花粉の少ないヒノキ種子の新たな種子生産技術を確立することを目的に試験を実施した。その中で今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 採種園における園外花粉の混入とカメムシによる被害を低減するため、東京都は既存の少花粉スギ採種園にビニルハウスを設置し、採種園の施設化を図った結果、採種木は概ね良好に生育した。
- (2) 施設型採種園において追加で目合い 0.8mm のネットを蚊帳状に設置して採種木を覆った結果、カメムシの防除効果が認められた。